

教科横断

PDCA

防災教育を軸とした教科横断的なつながり

■子どもの資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメント

これからの時代に求められる資質・能力を育むためには、各教科等の学習とともに、教科間のつながりを意識した教科横断的な視点に立った学習が重要です。これまでの授業では、各教科等の学習を一人ひとりの教員がそれぞれの持ち味を生かし展開してきました。しかし、子どもの資質・能力を育むためには、すべての教科において、子どもに付けた力を明確にし、全教職員がそれらを共通理解して学習を進めていかなければなりません。教科や領域、その他の教育活動と共通する内容や活動を連携させて授業を行うことで、子どもの学びがより深まります。

■防災教育と各教科等がつながる横断的な取組

掛川市立大須賀中学校では、学校経営目標に掲げられている安全教育を総合的な学習の時間を活用し取り組んでいます。その中でも特に防災教育に力を入れ、3年間を見通した防災教育のカリキュラムを作成しています。防災教育の主な活動には、①危険予知訓練、②事故防止、非常時に備えての訓練活動、③地域における中学生の役割確認、④災害時に備えた近隣の小学校・高等学校との合同避難訓練等があります。これらの活動を通して、防災教育と各教科等とのつながりを意識した「教科横断的な視点での授業改善」を実践しています。

夏の校内研修において、2学期以降に行う教科横断的な取組について考えました。これまでは、防災教育に関連する活動は総合的な学習の時間を中心に行われてきました。その活動を教科と連携させるために、次のようなシートを用意し、教科ごとにどのような取組ができそうかを付せんに記入し、可視化することで整理しました。

月	8	9	10	11	12
主な学校行事等	リーダー講習会 避難訓練	中体連新人戦 引き渡し訓練	悠然祭	新入生説明会	(地域防災訓練)
総合的な学習の時間(防災学習)	防災訓練 煙体験・浄水体験・可搬ポンプ放水体験・簡易救助法・搬送法	津波引き渡し訓練 地区内DIG	クロスロードゲーム	手当てケア HUG	地域防災振り取り 家庭内DIG
国語				①調べたことを報告しよう～レポードにまとめる	②小さな町のラジオ発～臨時災害放送局「りんごラジオ」
社会					3年(新)
数学					
理科					地震

縦軸に教科、横軸に月ごとの行事予定と防災教育に関わる活動を示しました。

(数学科)
地震発生後から津波到達までの時間について一次方程式を使って解く。

(外国語科)
道案内の学習後、災害時の避難順路や防災設備名を英語で表現する。

(保健体育科)(理科)
水泳の「救助法」の学習と理科の「浮力」の学習を関連させて行う。

(家庭科)
災害時における非常食の栄養価についての学習後、災害時の非常食メニューを作る。

研修で活用した連携シート

付せんに書かれた活動内容

■教育活動実施後の評価・精選

2学期末に実施した、防災教育とつながる教科横断的な取組の実践についてのアンケートでは、防災教育と各教科等のつながりについて意識した教員がおよそ8割、実際に関連する授業を行った教員がおよそ7割という回答を得ました。校内研修において、防災教育と各教科等の関連性が可視化されたことで、それらのつながりが意識されたと考えられます。教科の特性や実施時期など様々な難しさもアンケートからは見られましたが、来年度に向け、教育活動の見直しや精選を図り、子どもが主体的に取り組める活動を多く取り入れていく予定です。さらに、今後は、防災教育を意識した教科横断的な取組だけでなく、教科間のつながりを意識した教育課程を展開できるよう、計画していくこととなりました。

カリキュラム・マネジメントの実現において大切なことは、日々の教育活動の評価、改善を繰り返していくことです。全教職員の共通理解の基に、子どもの資質・能力を育てていきたいと思います。

※「Column 3 カリキュラム・マネジメントとは」と併せてお読みください。